

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 桑本 幸夫	電話番号	0852-22-5167
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	県行造林事業
目的	(1) 対象 県行造林地契約者
	(2) 意図 森林資源の造成及び木材生産を目的に育成されてきた分収林の適切な管理を行う。
事業概要	県行造林契約に基づき、契約期間満了まで森林の管理を行う。 契約満了を迎える山林については、造林契約に基づく立木処分を行うため、契約相手方と協議を行い、処分方針を決定し適切な手続きを行う。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	契約期間満了に伴う処理件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		4	15	18	21	件
式・定義	契約期間満了に伴う処理件数（有償解除、無償解除、契約延長等）		実績値	28	3	4	4		
			達成率		75.0	26.7	22.3		%
指標名	式・定義	契約期間満了に伴う処理件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00		
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
			達成率		0.00	0.00	0.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,538	4,985
うち一般財源(千円)	1,538	1,877

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成24年度から26年度に処理すべき件数18件のうち、14件が処理完了まで至っていない。
- 平成26年度は、処理すべき件数3件がすべて処理完了まで至っていない。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成24年度に3件、25年度に1件、計4件の処理が完了した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 平成26年度未までに契約期間が満了している案件が14件ある。

②困っている状況が発生している「原因」

- 土地所有者が多数または土地相続者が多数いる案件があり、意向調整や相続関係の整理に時間を要する。
- 所有者から契約解除等の承諾が得られず交渉が難航している案件がある。

③原因を解消するための「課題」

- 未処理案件については、早急に必要手続きを行い処理する必要がある。
- 現地調査、土地所有者等との協議など、地方機関との連携、協力体制の強化が必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 未処理案件については、年間計画をつくり、計画的に処理を進め、平成27年度中に処理を完了する。
- 平成27年度以降に契約が満了する案件についても、並行して計画的に処理を進めていく。
- 地方機関との連携・協力体制の強化のため、林業課と地方機関との連絡調整のための会議を開催する。
- 案件により処理に長期間を要するものも想定されるため、「県行治水造林の取扱い方針」（H13）に基づき、契約満了5年前を目標に処理を進めていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）